

Session2

- 広島大学 取組紹介 3
- 札幌交響楽団 取組紹介 18
- 立命館大学 取組紹介 33

広島大学 取組紹介

MEXT × FUNDS FORUM 2025

広島大学が躍動し 広島のを活性化させる基金の取組

広島大学 理事・副学長(社会連携・基金・校友会担当)
津賀 一弘



広島大学

2025年7月3日



大学概要

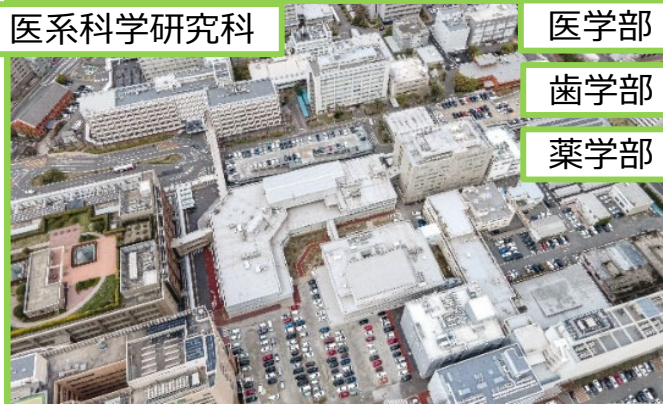
霞キャンパス（広島市）

医系科学研究科

医学部

歯学部

薬学部



12学部
4研究科
1研究院
1専攻科

東広島キャンパス（東広島市）

総合科学部

文学部

教育学部

経済学部

理学部

工学部

生物生産学部

情報科学部

人文社会科学研究科

先進理工系科学研究科

統合生命科学研究科

スマートシティ実践科学研究院

特別支援教育特別専攻科



約250 ha（マツダスタジアム約49個分）

東千田キャンパス（広島市）

人文社会科学研究科（法学・政治学、実務法学、マネジメント）

法学部

法科大学院

経済学部（夜間主）



R5年

移転

連携強化

広島市
霞キャンパス
東千田キャンパス

東広島市
東広島キャンパス

学部学生	10,730人
大学院学生	4,766人
教職員	3,472人
（令和7年5月1日現在）	

学位授与状況	
学士累計	151,418人
修士累計	44,976人
博士累計	14,383人

（令和5年度末現在）

1874年

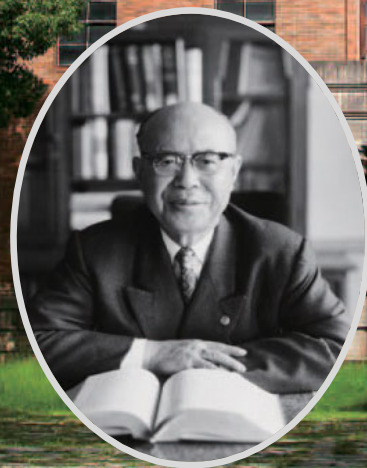
**白島学校創立
(最初の前身校)**

1949年

新制国立広島大学創立

2024年

創立75+75周年



初代学長 森戸辰男
(元文部大臣)

理念5原則：

- ・ 平和を希求する精神
- ・ 新たなる知の創造
- ・ 豊かな人間性を培う教育
- ・ 地域社会・国際社会との共存
- ・ 絶えざる自己変革

原爆被爆建物 旧理学部1号館 (広島市中区東千田町)

広島大学が躍動し広島の地を活性化させる基金

広島大学基金
2007年創設

広島大学が躍動し広島の地を活性化させる基金
2017年創設

学長のトップセールス

地元産業界へ
呼びかけ

75+75周年を契機とし、
躍動する広島大学を、
地域の方々が最大限に活用し、
全広島県の産官金と連携して
広島県の地が活性化することを
目指します！

多様なステークホルダー
へのアプローチ

基金推進会の組織化

広島大学が躍動し広島の地を活性化させる基金推進会
(2018年7月設立)

会 長: 広島商工会議所会頭

会長代行: 広島大学長

会員: 247名(2025年4月1日現在)

地元企業や地域・団体の代表者、
同窓生、大学関係者で組織
(事務局: 広島大学基金室)

年1回の総会

活動・研究報告

会員・企業様
との継続的な
双方向の対話
交流と連携

広島大学が躍動し広島のを活性化させる基金 ～広島大学の取組構想～

東千田キャンパス

法曹養成を核とした人文社会科学系の新たな拠点

まちづくり・平和活動・
教育研究・防災減災・
産学連携拠点の整備

若者人口の増加
留学生・来訪者
にぎわいの創出

地域医療の発展
自治体との連携
最先端医療開発
若手医師育成

霞キャンパス

医療人養成拠点

誰もが安心して
暮らせる広島へ
医療の高度化・活性化

3つのキャンパスが
市民と一体になって

広島のを 活性化

東広島キャンパス

国際交流拠点

グローバルキャンパス
起業・投資の増加による
の活性化

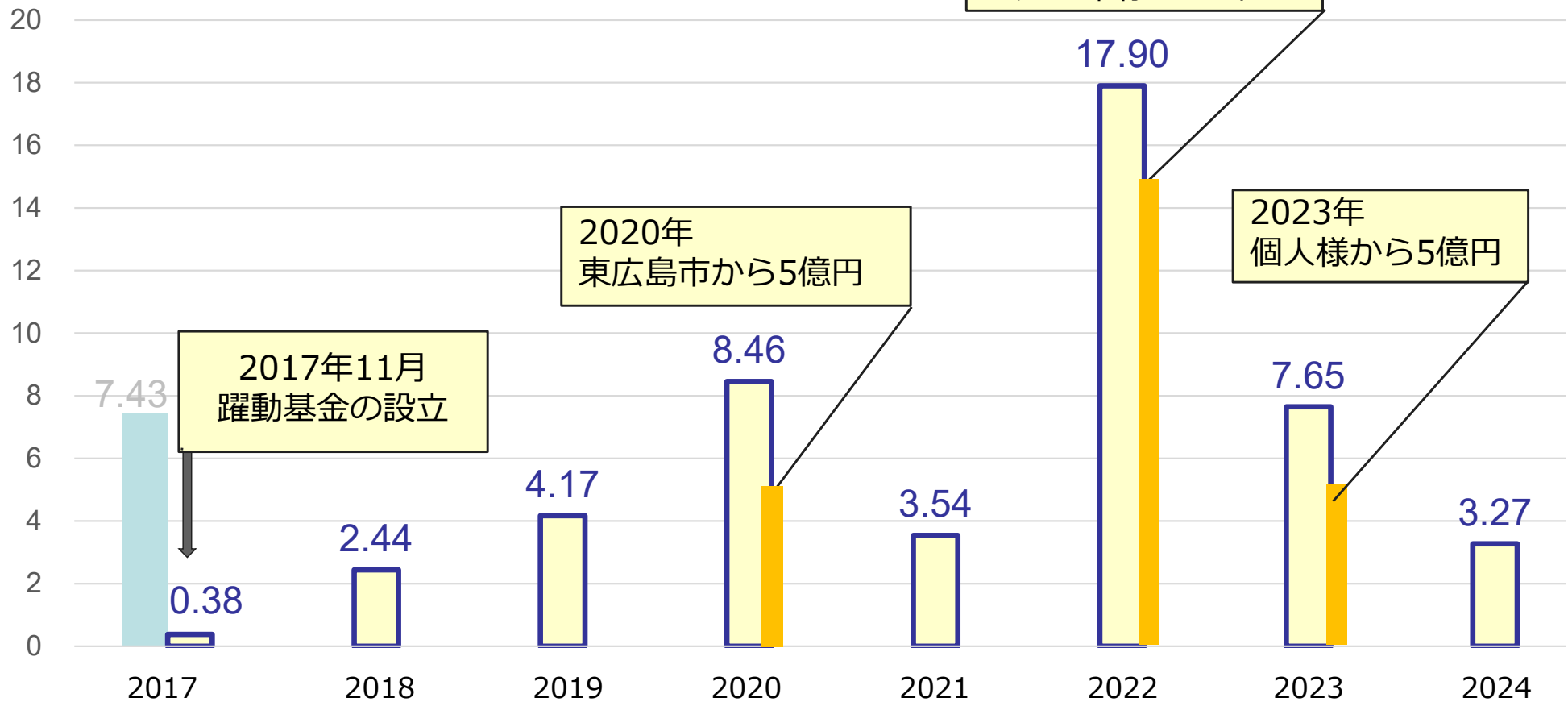
留学生の増加
新技術の創出
国際企業・投資

躍動基金 -目標100億円-

繰入
7.43億円

2024年度末現在
収入累計 **47.82億円**

(億円)



■ 躍動前からの繰入 ■ 躍動収入



基金推進会の活動成果(1) -自治体からの支援-

東広島キャンパス フェニックス国際センター MIRAI CREA

＜知識の循環、国内外の多様な人々の交流、
地域交流、イノベーションの創出の拠点＞



東広島市から
5億円の支援



イノベーション創出

交流拠点

東広島
TOWN & GOWN
Office

居住施設 68室



東千田キャンパス 慎思棟



霞キャンパス 凌雲棟



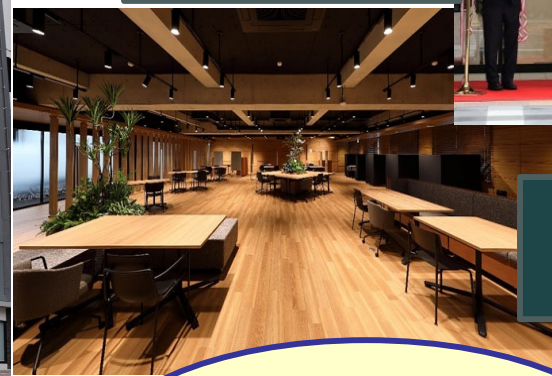
医療系専門教育・教養教育・
リカレント教育

＜法曹養成を核とした
人文社会科学系の新たな拠点

2023年4月
法学部移転



地域連携フロア
SENDA LAB



広島市から
10億円の支援

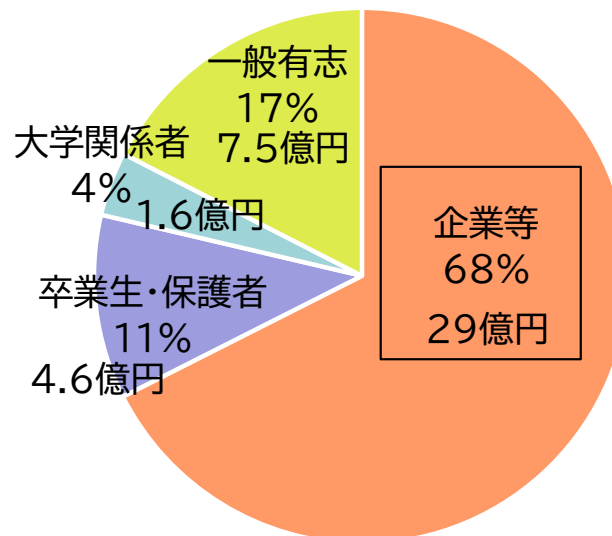


基金推進会の活動成果(2)-企業・有志の支援-

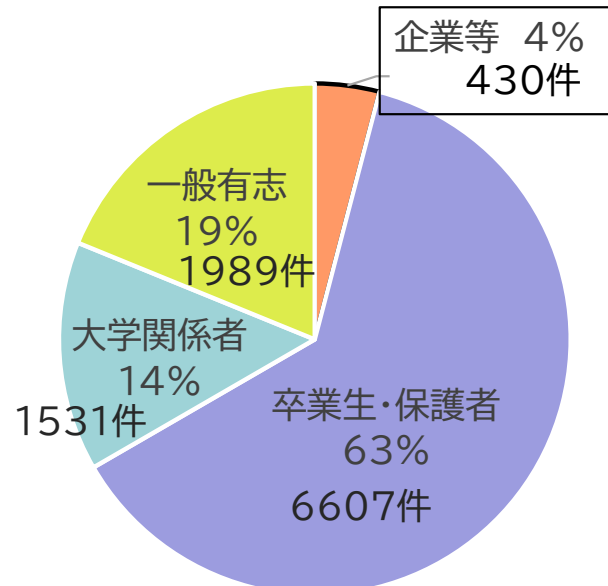


多くの地元企業様・
病院様・団体様から
ご支援いただきました

寄附金の提供者別内訳(2017-2024)



寄附件数の内訳(2017-2024)



株式寄附や建物寄附も



躍動基金 -今後の募金活動-

大学内でのワクチン・医薬品製造施設は世界初

広島大学ワクチン・医薬品製造拠点

霞キャンパスに
2026年度完成予定

経済産業省の事業採択

総費事業 | うち経産省補助金
50億円 | **30億円**

(株)サタケ 5億円
岡田外科医院 5億円
広島大学 10億円
イズミ株式9万株(3億円)他

広島のに

- ☑ 人材や創薬シーズが集積
- ☑ バイオ人材を輩出
- ☑ 創薬産業が興隆

広島から

- ☑ 有事ワクチン提供への貢献
- ☑ 難治性疾患創薬への貢献

革新的なワクチン・医薬品創出で世界の健康医療に貢献





卒業生や地域へのアピール

■ひろしまフラワーフェスティバルパレード (2024年5月参加)



学生・卒業生・教職員など
300名が参加



学長もオープンカーで参加

■広島カープスポンサードゲーム (2024年5月実施)



教員・学生による国歌斉唱



若手教員による始球式



卒業生や地域への寄付募集(1)

- クラウドファンディングで1,450万円(294件)の募金を達成！
創立75+75周年記念事業として広島大学オリジナルデザインのラッピング路面電車・バスが登場



2024年1月15日 お披露目式（於：広島電鉄(株)千田車庫）



- 地元酒蔵の酒樽を使い樽募金を実施。同窓会交流会で呼び掛け、計42万円(14回)の募金を達成！



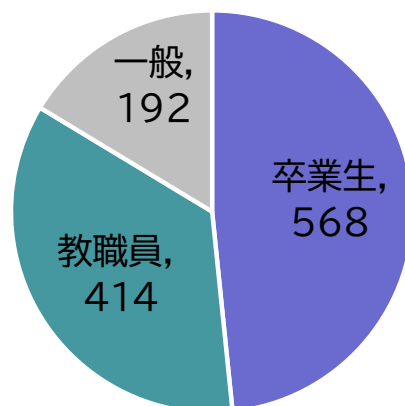
卒業生や地域への寄付募集(2) -学生支援プロジェクト-

コロナ禍での「応急学生支援金」(2020年募金)

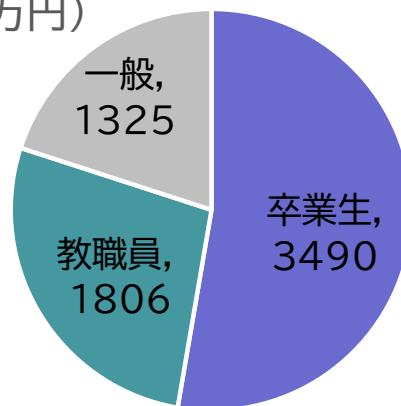
生活に困窮した学生・留学生向けに応急の支援金給付を決定し、全国に先駆けて募金を呼びかけ。

2020年の4月21日から6月15日(56日間)で、寄付 約6,600万円(1,174件)

寄附件数



寄附額
(万円)



支援内容: 一人当たり月額3万円を継続的に給付

支援期間: 2020.4.24~2022.3.9(1年10か月)

給付状況: 延べ1,820人に給付(申請者数2,500人)

新生活を支援「ようこそ広大」(2022年から毎年)



一人暮らしの新入生へ、
広島食材を詰め合わせて
送るプロジェクトを企画実施。

地元企業様にて
在学生が食材選び

2022年 約283万円(96件)
2023年 約179万円(108件)
2024年 約278万円(121件)
2025年も実施中

卒業生、保護者や
アパートオーナー
などから支援



支援内容: 希望学生に食料品詰合せを配送

配送状況: 3年間で合計2,236人(希望学生全員)に配送

今後の課題

寄附募集活動の拡充（全国、海外へ）

75+75周年と地域活性化で地元産業界・団体からここまでは強力な支援を得ることができたが、今後も持続可能な寄附募集活動であるためには…

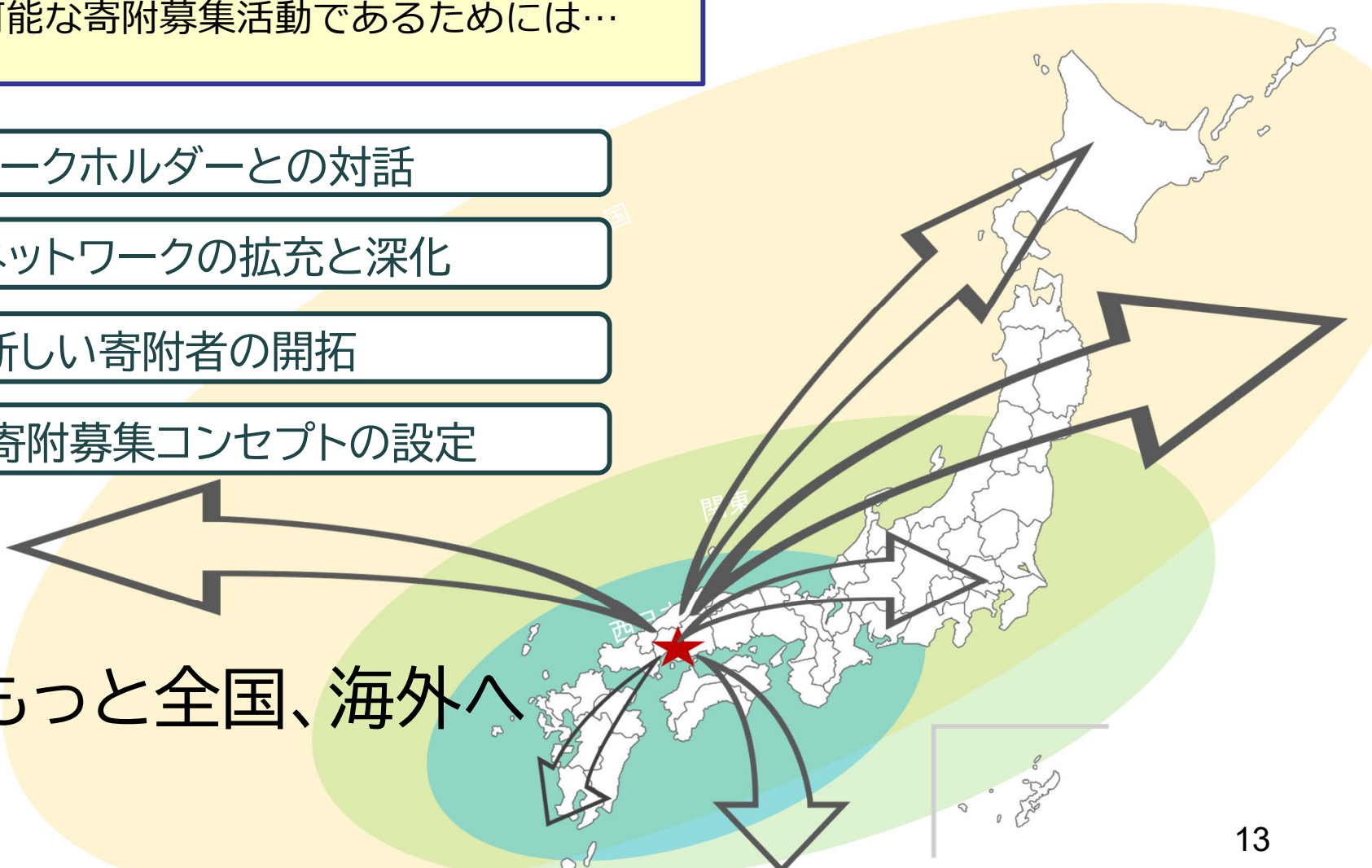
ステークホルダーとの対話

支援ネットワークの拡充と深化

新しい寄附者の開拓

新たな寄附募集コンセプトの設定

広島からもっと全国、海外へ



The diagram features a map of Japan with a red star marking Hiroshima. Several large, stylized arrows originate from this star and point towards different parts of the country, including Hokkaido, Tohoku, Kanto, and Kyushu. Additionally, arrows point from the star towards the bottom right, representing overseas expansion. The background of the map is divided into colored zones: yellow for the northern and eastern parts, and green for the southern and western parts.

ご清聴ありがとうございました



(本発表に関するお問合せ)

広島大学基金室

〒739-8511

広島県東広島市鏡山1-3-2

Tel: 082-424-6132

E-mail: kikin@office.hiroshima-u.ac.jp

広島大学フェニックスマーク
広島大学のシンボル「フェニックス」
(不死鳥、ヤシ科の植物)をモチーフと
としています。

広島大学マスコットキャラクター
「ひろティー®」
フェニックスマークを親しみやすくキャラク
ター化しました。

札幌交響樂團 取組紹介

Mext × Funds Forum 2025

公益財団法人札幌交響楽団

総務営業部 営業担当マネージャー
奥山大介

さつぽろ 巻

主な講演・セミナー歴

ファンドレイジング日本 2015・16・17・18

准認定ファンドレイザー必修研修

寄付月間2017イベント

アート×社会的インパクト評価

日本アートマネジメント学会

2017全国大会in奈良 招待フォーラム

文化施設・実演団体

道内国立大学・私立大学

社会福祉協議会 各職員研修

北海道内市民活動センター 他



札幌交響楽団とは

- 1961年発足
- 北海道唯一のプロ・オーケストラ
- 年間オーケストラ公演数は約120回
- 他、教育福祉活動としての
アンサンブル（小編成）コンサートを北海道全域にて開催
- 道民から「札幌響」の愛称で親しまれている



札幌交響楽団 © Photo by Y.Fujii

資金調達について

事業収入

チケット料

定期会費

演奏会協賛金

演奏会出演料 等

補助金等収入

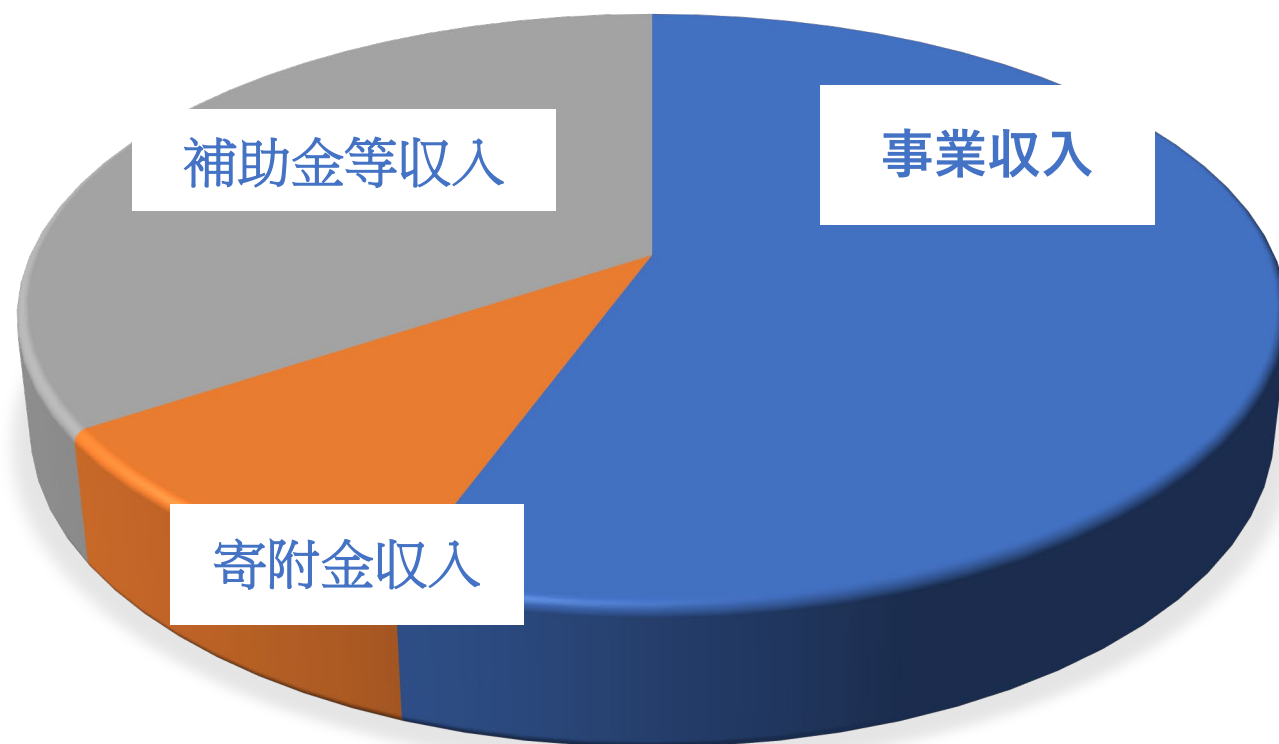
公的補助 等

寄附金収入

パトロナージュ会費

一般寄附

収入割合



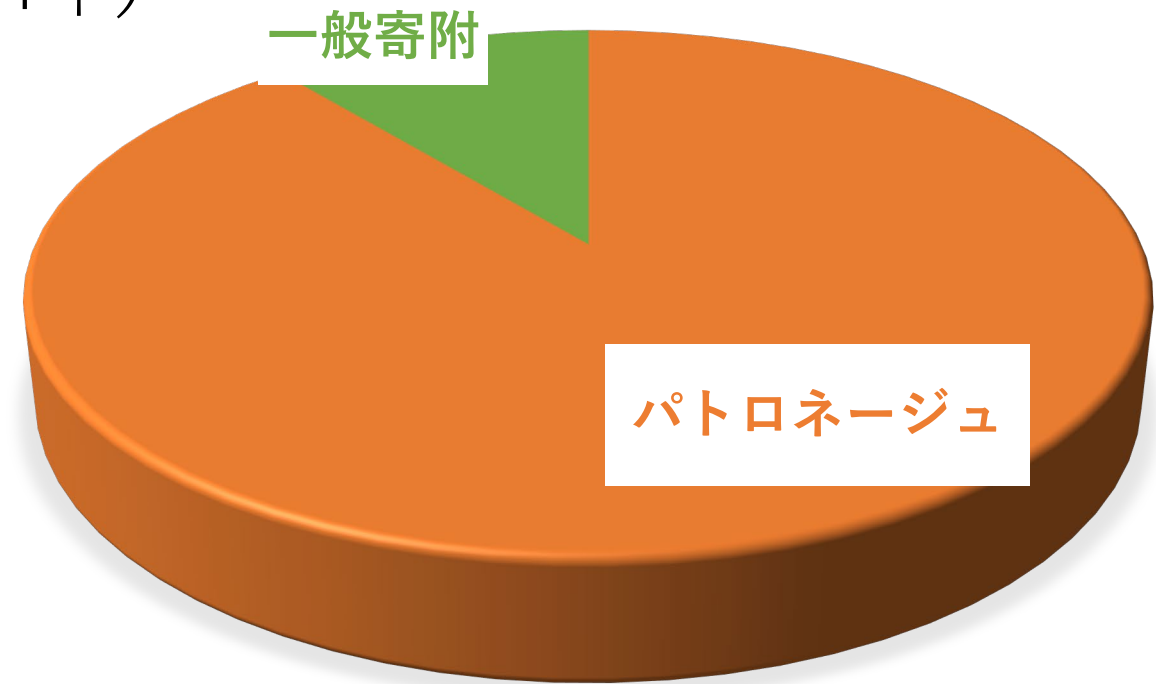
寄附金収入について

パトロネージュ会員数（2024年）

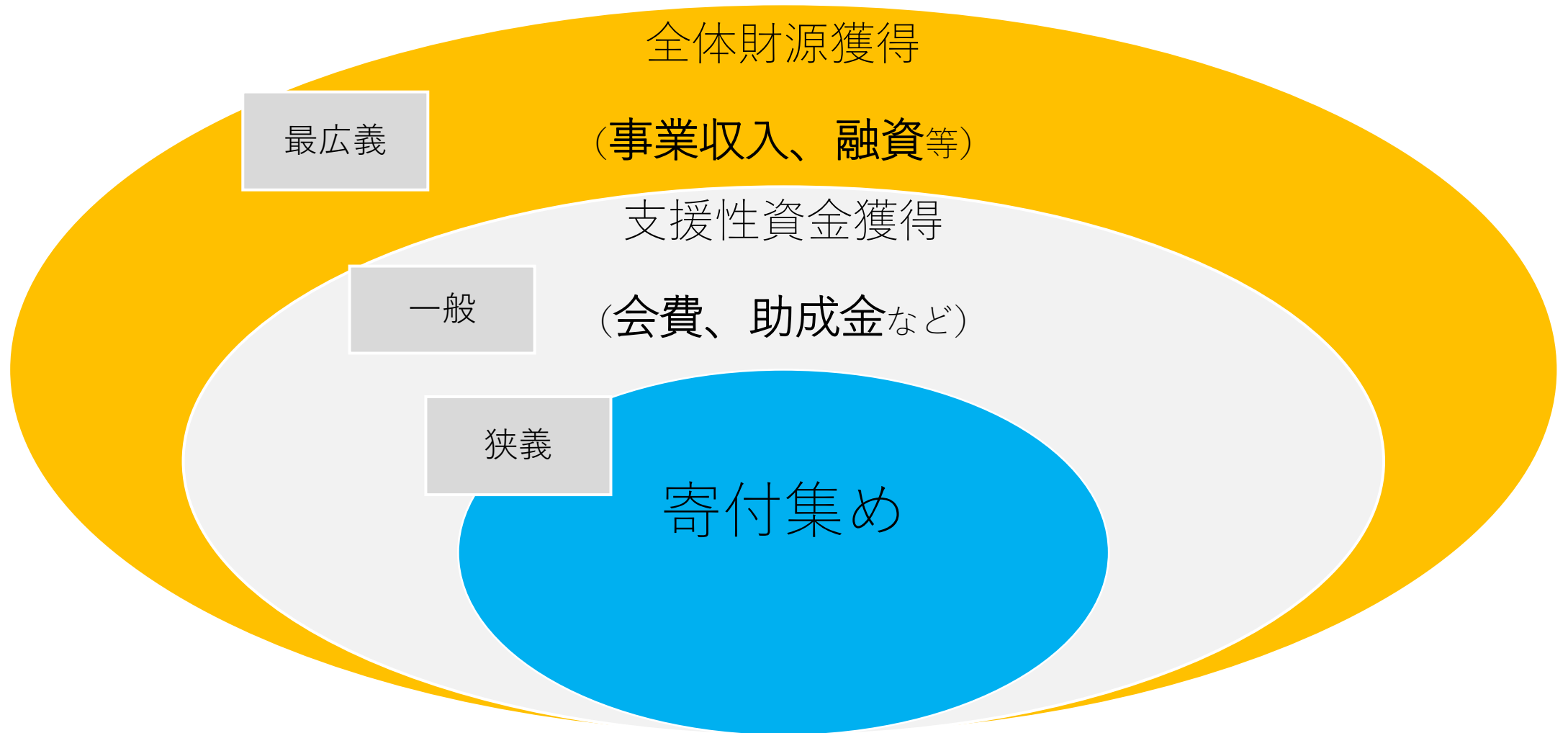
法人会員 258社

個人会員 223名

寄附金収入内訳



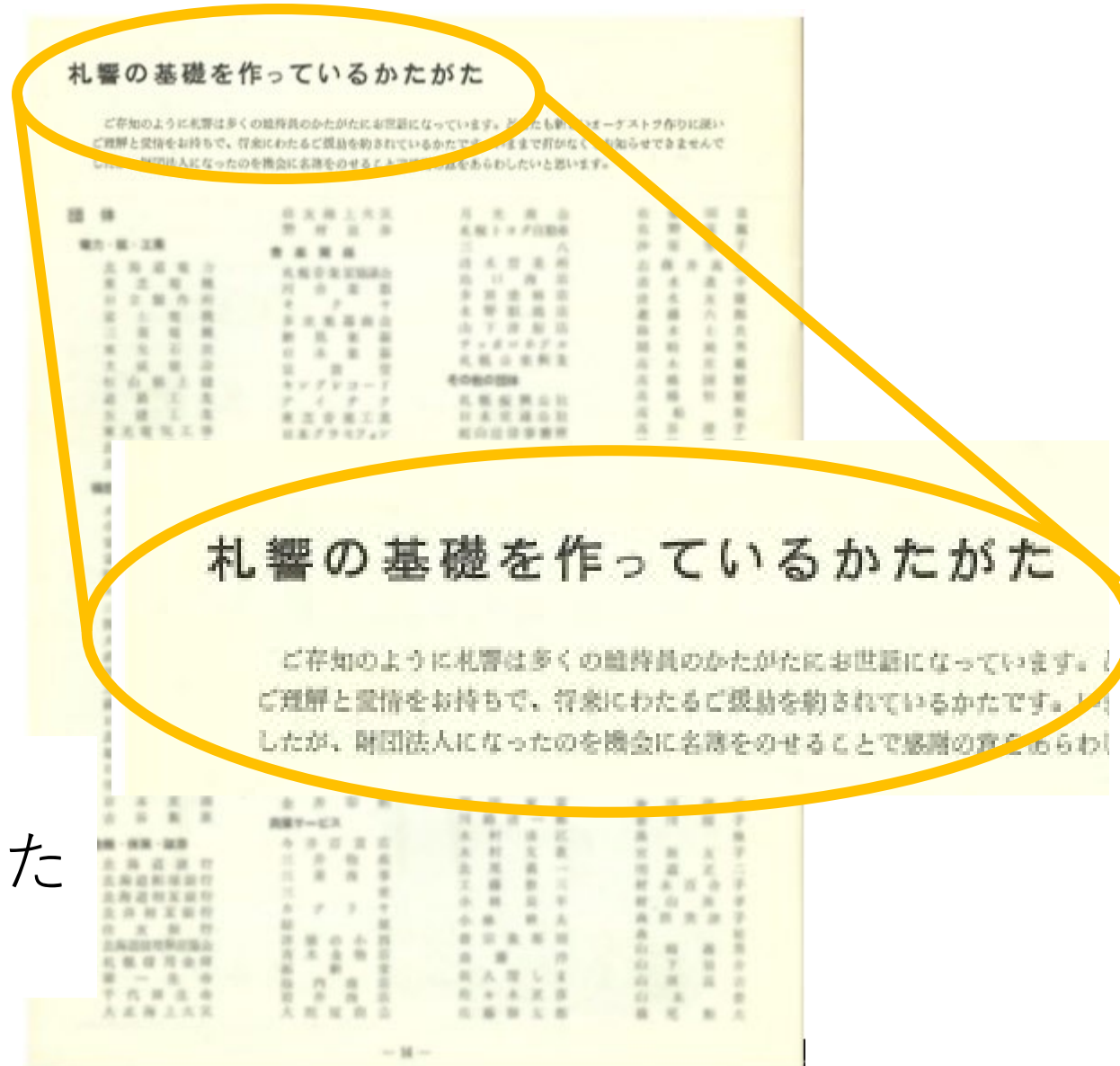
ファンドレイジングの範囲



維持会員（現パトロネージュ会員）



1962年4月24日開催
第7回定期演奏会時に配布された
「札幌だより」



コロナ禍のクラウドファンディング

- 新型コロナ流行により演奏会が一切開催できず
ファン・道民の後押しや、楽団員からの声により実施
- 楽団員から返礼品のアイデアを募集
- 返礼品等について事務局内にて各部署との調整
演奏実施について
チケット提供について
会計上の仕分けについて
- プラットホームの選定

コロナ禍のクラウドファンディング

主な返礼品の例

- 演奏会再開時に利用できるチケット引換券
- 札幌をバックに記念撮影
→ 忘れないでほしい、思い出してほしい
- 特別CD、札幌がモデルの絵本
→ 遠方の支援者むけ
- あなたの母校の校歌を録音し母校へプレゼント
→ 1つの寄付行動で、母校と札幌の2つを応援できる

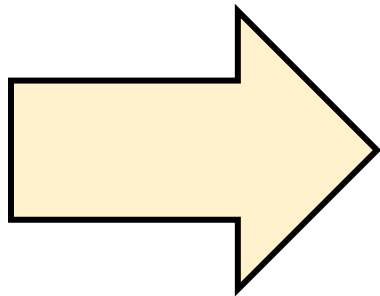
パトロネージュ会員とのかかわり

- 毎年 FACE to FACE で更新依頼
 札幌の活動をより知ってもらうため
 ファンになってもらえるように
- 気軽に声をかけてもらえる窓口を目指す
 そこから + α の支援や収入につながれば...



パトロネージュ会員とのかかわり

- 毎年 FACE to FACE で更新依頼
 札幌の活動をより知ってもらうため
 ファンになってもらえるように
- 気軽に声をかけてもらえる窓口を目指す
 そこから + α の支援や収入につながれば...



- オーケストラやアンサンブルの演奏依頼
- チケット団体購入

北海道でお待ちしております！



立命館大学 取組紹介

多様な資金戦略による 持続可能な大学経営に向けて



Futurize.

きみの意志が、未来。

2025年7月3日

学校法人立命館

総務部長 酒井 克也

立命館の歴史は、近代日本の代表的な政治家で国際人であった西園寺公望が、1869年に私塾「立命館」を創設したことに始まります。「自由主義」と「国際主義」を標榜した西園寺の精神を中川小十郎が引き継ぎ、1900年に立命館大学の前身である私立京都法政学校を設立しました。

その後、建学の精神に「自由と清新」を掲げ、教学理念「平和と民主主義」のもと幾多の苦難を乗り越え、現在では2大学、4附属中学校・高等学校、1附属小学校において、学生・生徒・児童数約5万人を擁するダイバーシティに富んだ私立総合学園へと発展しました。



学祖 西園寺公望



創業者 中川小十郎

	2 大学		4 中高 1 小学校
	立命館大学 16 学部・21 研究科	立命館アジア太平洋大学 3 学部・2 研究科	附属校
学生・生徒 ・児童数	37,959	5,535	7,368
教員数	1,399	195	602
職員数	1,331		
	専任 715		契約 616

(2024 年 5 月 1 日現在)



宇宙戦略基金「SX研究開発拠点」に採択



9年ぶりの学生日本一

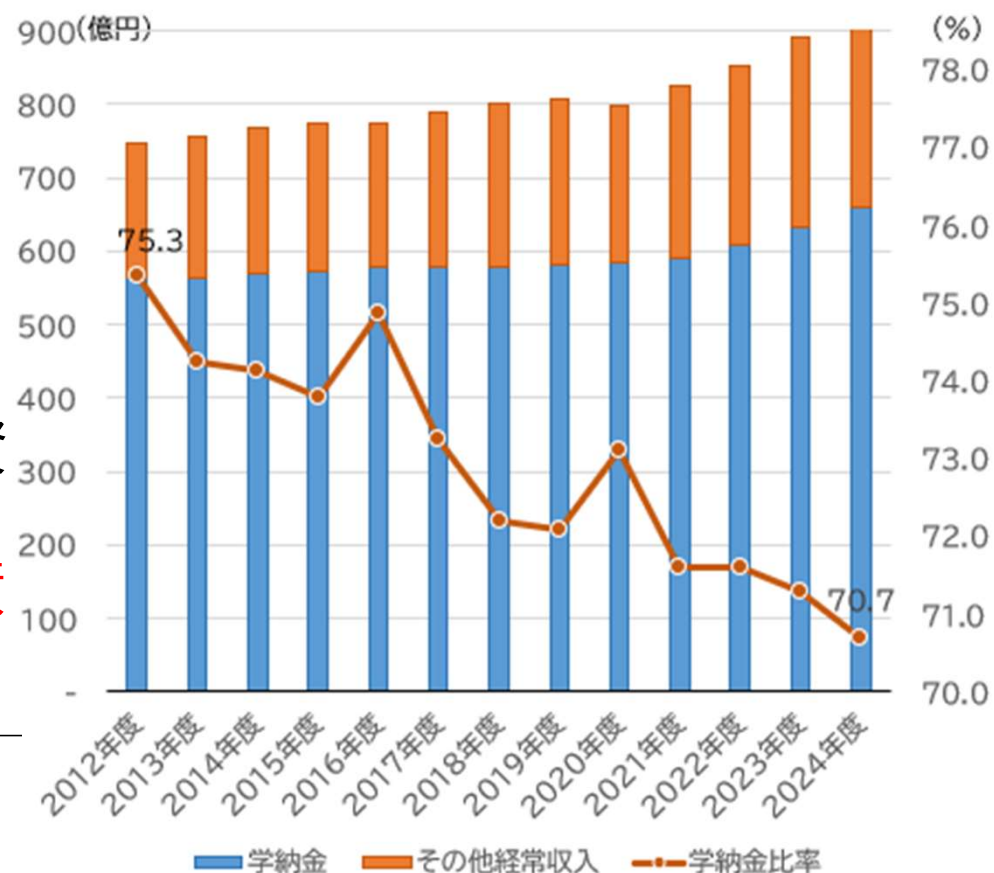


身体圏研究の研究推進・人材育成拠点

私学の収入の大半は、学費収入に依存(私学平均72.9%※1)＝予算の原資(収入)が単一的、支出は固定的な中(光熱水費、人件費、キャンパス維持等)中期計画の実現や環境変化への対応等に資する取り組みを外部資金から調達する運営が必要

※立命館は、R2030財政運営基本方針において学納金比率を75%未満とすることとしている

- 2024年度学納金比率は**70.7%**。これは、収入多様化の前進により、2023年度に続いて**過去最低の数値**を更新。
- 他大学と比較した場合の特長は、資産運用。中期ポートフォリオに基づく分散投資により、**2024年度実績30億円を獲得**。

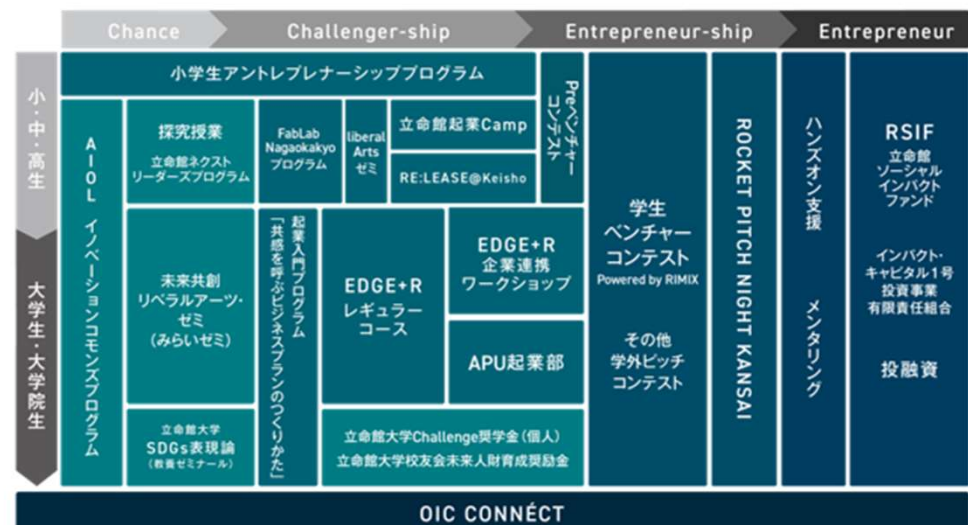


※1 日本私立学校振興・共済事業団「今日の私学財政」令和5年度、医療系法人を除く大学法人の平均

00年ローム記念館 16年平井嘉一郎記念図書館 19年分林記念館



RIMIX(立命館起業・事業化推進室)



小学生から投資まで超長期目線での教育・研究の充実を通じた資金調達戦略



文部科学省、経済産業省の補助事業に採択され実施

～2000年度 (外部資金)
キャンパス展開に自治体からの支援
(立命館大学BKCキャンパス、立命館アジア太平洋大学)
留学生の支援を企業からのご寄付で実現 (約40億円)

2005年～資金運用 (自己資金)
学納金以外の収入の多角化

～2020年度 (外部資金)
卒業生のご支援による、施設の充実

2020年度～ (自己資金・超長期)
RIMIX (起業支援) 卒業生・教職員・学生の起業支援、教育研究を通じたファンド投資と起業家からの資金循環

2023年度～ (外部資金)
J-PEAKS、宇宙戦略基金 (SX事業) 採択等 (自己資金→外部資金)

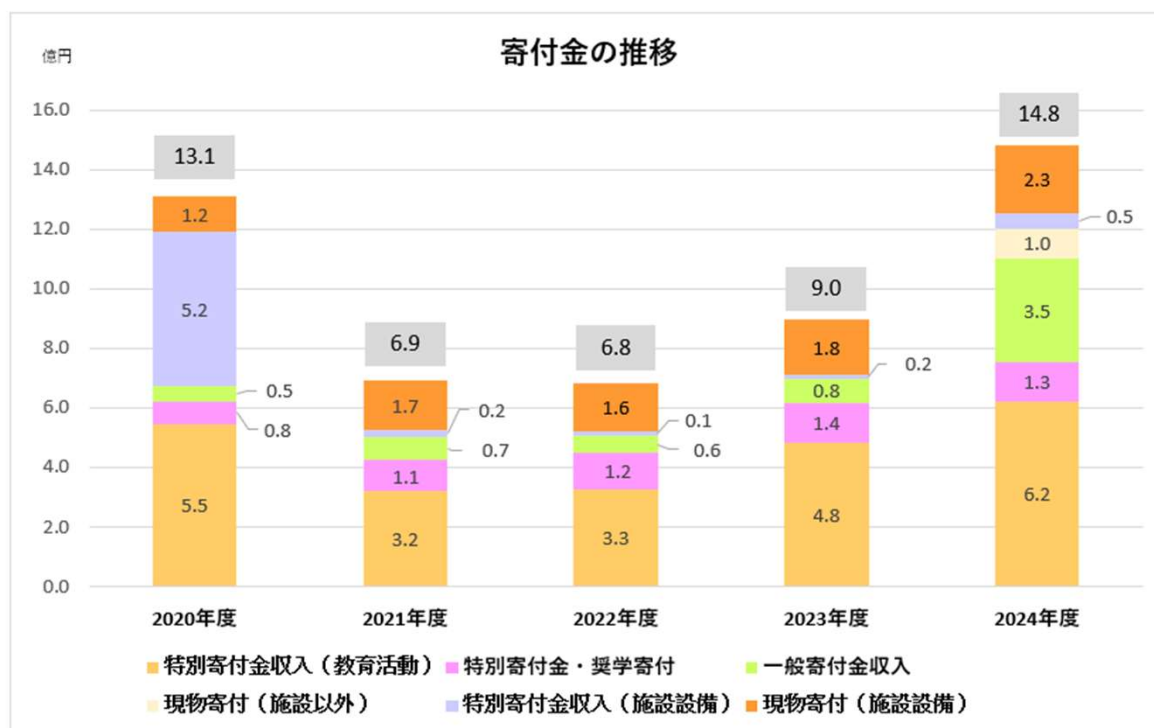
■ 寄付金の獲得に向けた動き(2024年から再稼働)

コロナ禍で活動が制限→周年事業に合わせ活動を本格化

教育研究の取組を、資金調達につなげる、補助金獲得等、従来の取組の延長線との認識

寄付金獲得と資金運用を一体的に実施することで、海外型の基金運用体制を目指す
体制を構築(専従は2名、委託)、HP刷新、返礼品作成、学内相談、提案、遺贈……

2024年度決算状況: 寄付金の推移



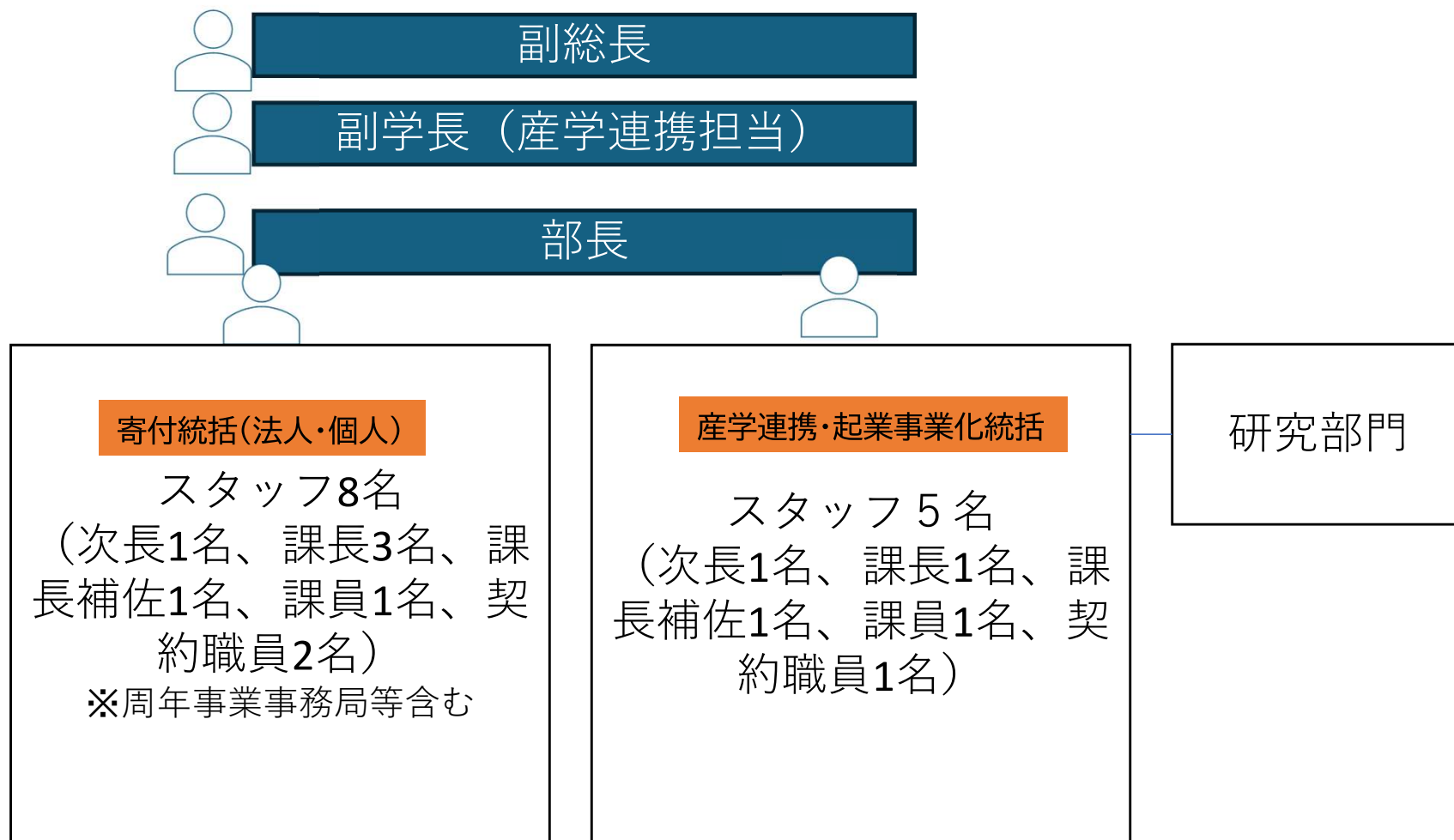
2024年度は、15億円
直近5年で最高額

受入先分散も進展、多様な
寄付の受け入れ



(課題)
産学連携部隊との連携

学校法人立命館 産学連携推進本部



組織と組織の連携の案件に対応する窓口となる→法人の組織として設置(学校、学部、部門をまたぐ対応可能に)
 プロジェクトごとに対応する体制(教員+職員)を構築

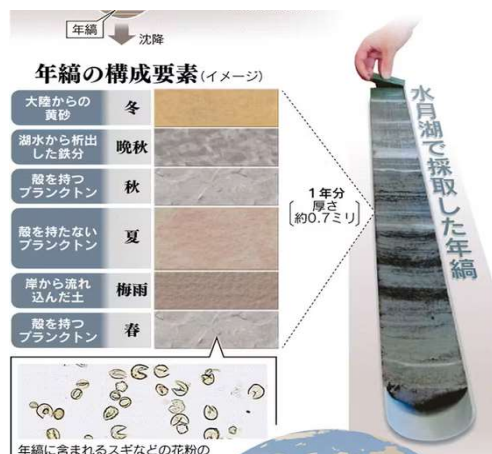
【1】大口寄付の獲得と信頼関係構築のための人材課題

高額寄付を依頼する企業、また富裕層との関係構築には、専門的な人材、長期的な関係性、トップを含めた大学全体の巻き込みが不可欠。しかし、優秀なファンドレイザーの確保は難しく、立命館らしさを模索中

【2】個人寄付の獲得に向けた戦略

個人(主に卒業生や父母等)からの寄付については、13000件～18000件で推移。すそ野の拡大が課題

【3】立命館の特色的な取り組みに対するアピールの不足



立命館大学 古気候学研究センター



立命館大学 国際平和ミュージアム



立命館大学 アートリサーチセンター

世界的な年縞研究拠点、気候変動政策に貢献

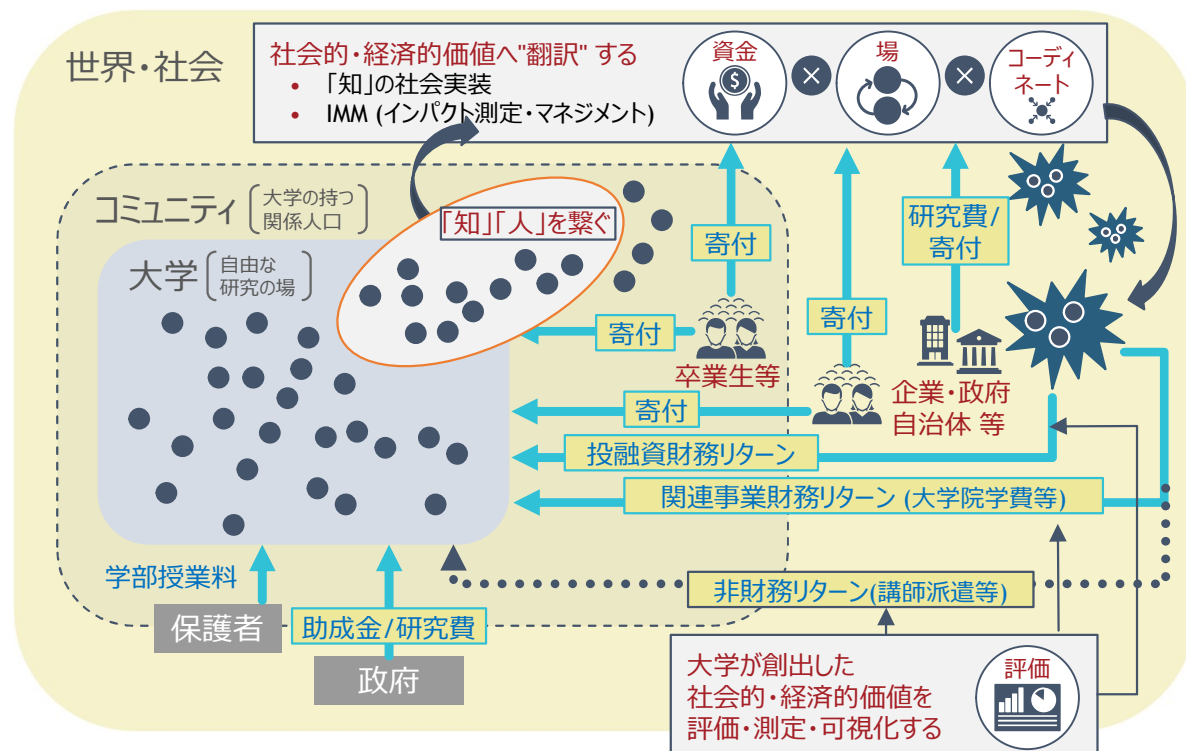
世界初の大学所有による総合平和博物館

日本文化資源のデジタルアーカイブ拠点

基盤的経費(授業料・補助金)に支えられた”自由な研究”で産出・蓄積された「知」を、社会的・経済的価値に”翻訳”することで、新しい資金の流れを生み出していく
大学内外の「知」を循環させる「新しい経営モデル」のイメージ

創出価値・資金の流れのイメージ

●: 産出された「知」≡その「知」を保持する「人」 ★: 社会的・経済的インパクト →: 資金の流れ



大学として持つべき機能

- 自由な研究の「場」を提供し、「知」を産出・蓄積していく機能 (≡既存の大学の機能)
 - 多様性・社会全体における冗長性を確保する役割
- 複数の「知」「人」を繋ぎながら、「知」を社会的・経済的価値に”翻訳”する機能
- 社会的・経済的価値を「財務/非財務のリターン」に変換する機能
 - そのための前提として、「大学」が創出した価値を評価・測定・可視化することが必要

※内閣府 令和4年度PEAKS 実証事業 実績報告書をもとに作成